

# 平成26年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業審査会

## (ステップアップ事業・事前審査) 議事録

日時：平成26年3月7日 午後7時00分から8時15分

場所：瑞浪市総合文化センター 講堂

出席委員：小木曾 孝行（委員長）、佐々木 浩美、和田 千津代、田中 恵子、  
渡邊 勝利

欠席委員：佐藤 俊幸（副委員長）

事務局職員：市長 水野 光二、総務部長 水野 正、  
市民協働課長 宮本 朗光、  
まちづくり推進係長 梅村 修司、まちづくり推進係 隅田 一弘

出席人数：審査会委員5名、市5名、一般46名、計56名

日程：

1. あいさつ（市長）
2. あいさつ（委員長）
3. 審査会の進め方について  
申請状況について（事務局説明）  
事前審査の方法について（事務局説明）
4. 審査
  - ①申請地区からのプレゼンテーション
  - ②申請事業についての意見交換
5. 市長講評
6. 事務連絡

### 【日程1 あいさつ（市長）】

夢づくり地域交付金制度も今年度で6年目を迎えました。夢づくり地域交付金を活用し、地域の皆様が活発に活動をされてこられ、大きな成果を挙げていただいていることに感謝いたします。瑞浪市にこのようなすばらしい制度があることが広くPRできているのも、皆様の日頃からの活動によるものであります。

平成25年度に、土岐地区が実施されたステップアップ事業も、地域の皆様が積極的に取り組まれる中で、夢づくり地域交付金を活用され、大変すばらしい成果を挙げられました。この成果を次へのステップアップに繋げていただきたいと思います。

平成26年度より、ステップアップ事業の運用面の一部見直しを行い、今回、稲津地区がこの新制度を活用した事業申請をされております。すばらしい事業展開に期待します。

地域の皆様の自主的で積極的なまちづくり活動の中、夢づくり地域交付金制度が成立しており、今後とも、皆様方のまちづくり活動へのご尽力いただきますよう、お願いいたします。

### 【日程2 あいさつ（委員長）】

寒い日が続きます。本日は、稲津地区の方、事業のプレゼンテーションよろしくお願ひします。現在、黒の田湿地には、来訪者が年間約5000名ということですが、さらに多くの集客に繋がる事業成果となることを期待したい。

審査会においても、事業を応援する体制をとっていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

### 【日程3 審査会の進め方について】

《申請事業について事務局より説明》

《事前審査の方法について事務局より説明》

### 【日程4 審査】

#### ①申請地区からのプレゼンテーション

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会より、「黒の田湿地周辺の里山環境保全及び木道設置整備事業」についてのプレゼンテーション

#### ②申請事業についての意見交換

##### ○委員

大変貴重な説明ありがとうございました。

黒の田湿地の整備について、地域の皆様がボランティアで取り組んでおられることに深く感銘いたします。地域の皆様への感謝を申し上げます。

##### ○委員

黒の田湿地、屏風山は、稲津のみならず、瑞浪市の財産であると思います。インターネット等で検索すると、そこに訪れた方の感想などを見ることができ、道

しるべもしっかりしており、また、木道もすばらしいとの評価がありました。また、湿地に生息する貴重な植物を見ることができるのも、貴重な体験になるとの評価もありました。今後、市外、県外からの多くの来訪者に期待したい。

特に、瑞浪市民の方に黒の田湿地のすばらしさをもう一度伝え、次世代の子供たちがこの自然を体験し、学ぶ機会を多く作っていただきたい。

#### ○稲津

黒の田湿地の愛好会だけでなく、ボランティアの方が、空いている時間に、一人でも黒の田湿地周辺の草刈り等の整備をされており、いつでも快適に散策ができる状態にしております。来訪された方がインターネット上に黒の田湿地のPRに繋がる感想を載せていただいていることには大変感謝しています。

まちづくりとしても、ふるさとの山、みずなみの山として、PRに努めていきたいと考えております。

#### ○委員

今回の事業完了後の、黒の田湿地の整備計画はどのようになっていますか。また、ステップアップ事業としての今後の展開はどのようになっていますか。

#### ○稲津

擬木による木道整備が終了すると、長期にわたり安全な木道が完成することになります。黒の田湿地の周辺については、毎年ボランティアによる整備を行っていく必要があると考えております。

現在、稲津まるごと公園化構想があり、黒の田湿地、屏風山だけでなく、県の文化指定を受けた小里城跡等も含め、環境整備に努めたいと考えております。

黒の田湿地整備についてのステップアップ事業は、今回で区切りがつくと考えております。

#### ○委員

年々、黒の田湿地はすばらしい形に整備されてきていると実感しています。東濃最大の貴重な自然であるので、子どもたちが学習の場として訪れるように努めていただきたいと思います。

#### ○稲津

今年度、悪天候のため、中止となってしまったが、授業の一環として、黒の田湿地散策を計画しました。今後も、希望があれば、子どもたちの学習の場として提供していきます。また、学習の場としても相応しいように、日頃の整備に力を入れていきたいです。

#### ○委員

貴重な植物また、動物が生息する黒の田湿地は、稲津の方だけでなく、市を挙げて保全していく必要があると感じました。その中で、地域の財産を自分たちで守るための、若い力の取り入れについて、どのような取り組みを行っていますか。

#### ○稲津

若い世代は、普段仕事に出ているため、なかなか整備スケジュールと合わないところに苦慮しているところでもあります。しかし、次の世を担っていく世代であ

りますので、何とか参加していただきたいと思っています。まちづくり広報誌等で整備ボランティアの募集などを行っていますが、今後の課題であります。

若い力を取り入れることは、稲津だけでなく、市内8つのまちづくりに共通する課題であります。各まちづくりで知恵を出し合い、何とか良い解決へと向かっていきたいと考えております。

#### ○委員

休日に整備活動を行う計画はありますか。

#### ○稲津

休日に行う場合もありますが、年間を通じての活動であるため、休日中心の整備活動にはなっておりません。

#### ○委員

幸い、学校に勤務している身であり、休日であれば、学校も休みであるため、県内外問わず、学生の参加の形で協力させていただきたい。瑞浪の貴重な自然を守るために、力になればと考えています。

#### ○稲津

ありがとうございます。

事業計画をお伝えし、都合が合う日に協力していただければと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

#### ○傍聴者

稲津町の者です。現在、16名のボランティアで黒の田湿地周辺の整備を行っています。稲津町には、年配の世代も多くいます。若い世代も含め、力を合わせていくと良いと感じております。

### 【日程5 市長講評】

本日のプレゼンテーションお疲れさまでした。大変貴重な時間でありました。2.5haの広大な湿地であります。約30年前は、湿地が確認できないほど雑木等で荒れ果てた場所であったと確認しております。長年の地域の皆様の地道な整備によって素晴らしい湿地へと回復しました。大変賞賛に値するものであると思っています。夢づくり地域交付金を活用し、この湿地をさらに素晴らしいものへとさせていただきたい。市としても協力していきたい。他の地区におかれましても、素晴らしい事業展開を期待したい。本日は貴重な時間を頂いたことに感謝いたします。

### 【日程6 事務連絡】

《事務局より事務連絡》